



Jodo Mission of Hawaii Bulletin - April 2022

ハワイ浄土宗別院寺報（ブルテン日本語版）

ハワイ州ホノルル市マキキ街1429
電話番号：（808）949-3995

Hawaii
Buddhist
Council
2022
Buddha Day Service
“Hanamatsuri”
& Memorial Service
for the Victims of COVID-19

DATE

Sunday, April 3, 2022
09:30 AM
(HST)

GUEST SPEAKER

Dr. Glenda Nogami Streufert
Former Manager,
Kauai Civil Defense Agency

- Theme -

“Adapting & Responding to uncertain situations – Interaction with others”

Dr. Glenda Nogami Streufert grew up on the Island of Lanai before moving to the Midwest, to Germany and later to Washington DC, Pennsylvania, and Virginia. She has worked in both academic and governmental positions in Germany and the U.S. Since retiring to Kauai, she has managed the Kauai Civil Defense Agency (now Kauai Emergency Management Agency) and served on the County Planning Commission & on Board of Hawaii Health Services Corporation. She holds a Ph.D. from Purdue University.

Zoom Link
Meeting ID: 881 7684 8159
Passcode: 593636



Donations Welcome
Please use the link or scan the
QR Code to donate. Mahalo!
<https://qr.qrnel.jp/jv.php?e=2v32eg8>



Zoom & Limited In-person Service / No Refreshment

For more information, please...

☎ (808)-949-3995 | ✉ mail@hawaiiibuddhistcouncil.org



ハワイ仏教連盟主催花祭り
2022年4月3日（日）午前9時30分～
於）ハワイ浄土宗別院
ズーム会議ID: 881 7684 8159
パスコード： 593636

永代経法要：毎朝9時30分より

（参列される場合は、お電話下さい。都合により時間が変更になります。）

納骨堂・事務所オフィスアワー：

午前10時～午後5時まで（月～土）

午前10時～午後3時まで（日・祭日）

事務所：（808）949-3995

日曜礼拝：毎週午前10時より



Jodo Mission of Hawaii
1429 Makiki Street,
Honolulu, HI 96814
Address Service Requested

ハワイ浄土宗別院檀信徒の皆様へ

アロハ！ハワイ浄土宗開教総監の石川広宣（こうせん）と申します。別院には、1997年8月29日に赴任。約2年半駐在後、カウアイ島コロア浄土院主任を拝命。以来21年間をカウアイ島で過ごしましたが、昨年11月に別院へ引越してまいりました。以前よりお世話になっている方や最近知り合った方々と直接お電話でお話する機会もあり、日本語記事の需要が高いことを知りました。私はどちらかといいますと、日本語よりも英語の文章の方が書きやすいと感じるのですが、少しでも同胞の皆様のお役に立ちたいと一念発起して、ブルテン日本語版の発刊へ至った次第です。護持会費（年間60ドル）をお支払いの方には、無料で郵送致しますので、事務所までお知らせください。お手数ながら、毎月、事務所に取りに来ていただくのも大歓迎です。遅かれ早かれ、皆様には一人一人お会いしたいと思っております。皆様すでにご存知のように、全米の中で、最後までマスク着用義務のあったハワイ州も今月26日以降、室内でのマスク着用義務が撤廃されます。これにより、2020年3月中旬にはじまったハワイにおける一連のコロナ感染対策の規制が撤廃されます。しかしながら、ウィルスは完全に収束した訳ではありませんので、ハワイ浄土宗別院では大切な檀信徒の皆様の安全を最優先し、しばらくは本堂内でのマスク着用をお願いする方針です。その代わり、マスク着用の場合は対人距離は不要です。年忌法要など申し込まれる際、皆様の御希望に添えるよう善処いたしますので、参加人数や法要後のリフレッシュメントの規制の有無など日本語でお気軽にご相談ください。

ハワイ仏教連盟花祭りは、4月3日午前9時30分よりハワイ浄土宗別院で対面とオンライン（ズーム）の併用で行います。お釈迦様の誕生日4月8日は、ハワイ州でブッダ・デーに制定されており、従来通り生誕をお祝いする一方、新型コロナウイルスで亡くなった方々の追悼法要も行う予定です。ゲストスピーカーは、カウアイ島在住で私の友人グレンダ・ノガミ・ストリウファート博士です。社会心理学が専門で、カウアイのコロナ感染対策チームにも携わっておられました。コロナ禍の不安にどのように対応していけばよいかをテーマに講話下さります。残念ながら法要後の軽食はございませんのでご了承下さい。翌週の**4月10日（日）午前10時から別院の花祭り**を行います。こちらもぜひご参加ください。さて、英語版のメッセージでご紹介しましたが、**5月上旬に「鯉のぼり・セレブレーション」**と題し、お寺のフロントヤードに沢山の鯉のぼりを飾ります。中国の故事によれば、黄河の上流にある竜門と呼ばれる激流の滝を登りきった鯉が、龍となった伝説が有名です。ここから出世の魁となることを「登竜門」と呼んでいます。以来、鯉は出世や力強さの象徴として日本社会で認識され、特に江戸時代中期より端午の節句（5月5日）に鯉のぼりを飾る習慣が始まったようです。ハワイの青い空を背景に風にたなびく、元気のよい鯉を見ることはとても心地のよいものです。別院の前庭に沢山の鯉を集めて飾ることで、より多くの人を励まし、皆様の健康を祈り、そして寺院に足を運んでもらおうと意図しています。別院では鯉のぼりのスポンサーを募集しています。ご家族の御祝い事や記念日、また亡くなった方への追悼などメッセージを添えることも可能です。鯉のぼりの色はランダムになりますが、サイズ小が10ドル、サイズ大が20ドル。お申し込みの程よろしくお願い致します。

2022年お盆ですが、今年は法要も盆ダンスも対面でできることを期待しています。大塔婆廻向は既に申し込みされましたでしょうか？締切日は、3月1日まででしたが、まだお申し込みできますのでお早目にご一報ください。詳細は4月の理事会で議論し決定後お知らせいたします。今しばらくお待ちください。

ハワイ浄土宗別院鯉のぼりスポンサーの申し込み用紙

お名前: _____

Eメールアドレス _____

又は住所 _____

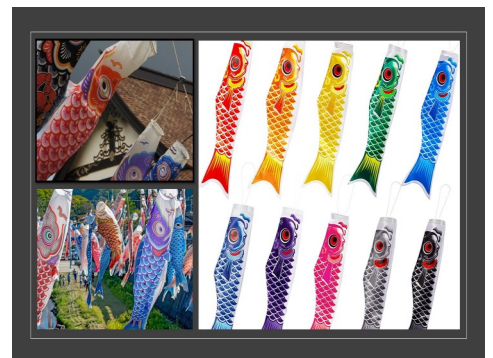
電話番号: _____

メッセージ: _____

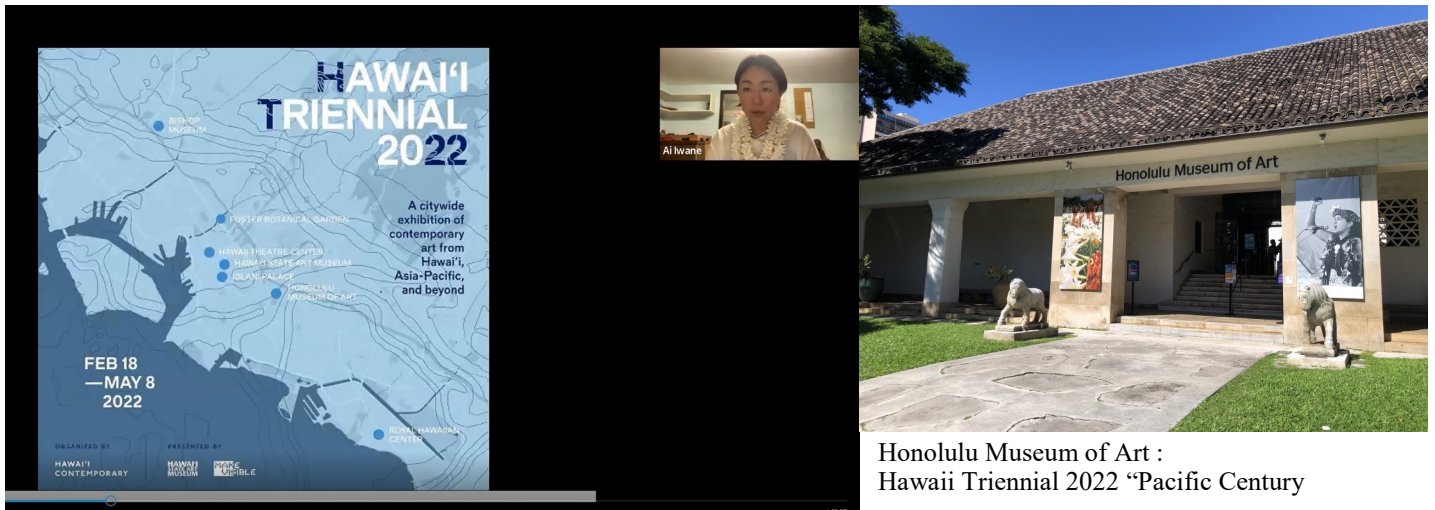
鯉のぼり（小）一つ10ドル x _____ (数量) = 合計 _____

鯉のぼり（大）一つ20ドル x _____ (数量) = 合計 _____

（鯉のぼりの色はランダムになります） 合計 _____



ハワイ開教区開教使・開教助員オンライン研修会の開催



Honolulu Museum of Art :
Hawaii Triennial 2022 “Pacific Century

2022年3月3日、ハワイ開教区では昨年に引き続きズーム会議方式でオンライン開教使・開教助員研修会を開催しました。講師は、現在ホノルル市の7会場で開催されている芸術祭「ハワイ・トライエニアル」に参加されている東京出身の写真家・岩根愛氏。トライエニアルとは「3年に一度」という意味の英語で、文字通り3年に一度開催されるイベント。ネットではイタリア語の「トリエンナーレ」の表記が散見されます。今年は、「太平洋の世紀（ハワイ語でホオマウ・モアナリイアケア）」をテーマに、43人の芸術家、内日本人9名の芸術作品が5月8日まで展示開催中。ラハイナ浄土院（原源照先生）をはじめ浄土宗寺院の盆ダンスが作品として展示されていることから、作品のお披露目、解説を兼ねて講話を頂きました。岩根氏は、2006年頃からハワイ・日系人とその文化に興味を持ちはじめ、ハワイへ通うようになります。後に戦前・戦後に使用されていた360度パノラマ写真機材であるコダック社サーカット（Cirkut）を入手。以後、ハワイの各地や盆ダンスをパノラマで撮影。特に、ハワイと福島「盆ダンス」のつながりをテーマとした写真集「キプカ」で、2018年第44回木村伊兵衛賞と第44回伊奈信男賞を受賞。キプカとは、ハワイ語で新しい溶岩に囲まれた古い大地を意味しますが、古い大地に根づいた植物の種がやがて風によって運ばれ新しい大地に根づいていくように、「命の絆、つながり」をテーマに作品を解説して頂きました。ハワイには、戦前から戦後にかけて、葬儀時に集合写真を撮影する風習があり、実に多くのパノラマ写真が現存しています。半世紀以上前の写真でありながら驚くほど高画質であり、どのようなカメラでどのようにして撮影していたのか？また、どのような目的で撮影されていたのか？岩根氏より実際にサーカットカメラが駆動している動画が紹介されました。来年でハワイ赴任60周年を迎えられる原先生によりますと、1970年代後半までは、葬儀のプログラムの中に、写真撮影が組み入れられていたとのこと。これはハワイ独自の習慣で、日本から移住した日系人家族が一同に会する葬儀での集合写真を送ることで、故郷の家族や親せきに近況やハワイでの成功をビジュアルで伝える目的もあったのではないかと原先生よりコメントして頂きました。確かに、集合写真の中には、背景に車がずらりと並んでいる写真も多く存在します。写真機材が一般に普及していく過程で、葬儀での写真撮影が自ずと行われなくなったようですが、近年、日本では若い僧侶の中で、葬儀や年忌法要で家族写真を撮ろうという動きが見られます。家族親戚が一同に会する絶好の機会であり、思い出として後世への記録としても、かつてハワイで行われていた素晴らしい習慣を再び取り入れていくことを検討したいと思います。なお、岩根氏の作品は、ホノルル美術館で展示中。特に原先生のインタビューを中心とした20分間のドキュメンタリーが常時放映されており、作品がより身近に感じられました。ホノルル美術館では、毎月第3日曜日を「オハナ・デー」とし、ハワイ在住者の入館料を無料としています。仏像、仏画など仏教美術の展示品も充実していますので、ハワイにご来島の際は、ぜひ一度行かれることをお勧め致します。

えひめ丸衝突事故追悼式

2022年2月9日、ホノルル市カカアコ臨海公園にあるえひめまる慰霊碑前で、えひめ丸追悼委員会・日米協会主催による



えひめ丸衝突事故追悼式典が開催されました。この事故は、今から21年前の2001年2月9日、ハワイ州オアフ島沖18キロの地点で米海軍原子力潜水艦グリーンビルの海面への急浮上したところ愛媛県立宇和島水産高校の実習船えひめ丸と衝突。実習船に乗船していた35名のうち、実習生4名、指導教官2名、乗組員3名の尊い命が失われた悲劇の事故です。後に潜水艦には一般人が多数乗船しており、その対応に追われていたため安全確認がおろそかになったことが事故の一因にあげられています。

昨年はコロナ禍の中で、日本からの関係者の参列はなく少人数で実施されましたが、今年はホノルル総領事館より青木総領事、ハワイ州デビッド・イグ知事夫妻、ブランジアーディホノルル市長、日系連合協会、ハワイ仏教連盟などの参列がありました。

式典の冒頭で、参列者を代表し、ハワイ仏教連盟会長石川広宣総監より祈りの言葉が述べられ、事故が起こった時刻の午後1時43分には黙とうが捧げられました。2組の遺族が日本から参列され、参加できたことの喜びを表明されていました。式典の終了後には、ハワイ仏教徒連盟各宗代表による焼香と読経が行われ、犠牲者を悼み、改めて海の安全と日米友好を祈りました。

プリセラ・ラグマン氏の引退



皆様はフィリピン人のプリセラさんをご存知でしょうか。毎朝6時前からお寺では用務員として働いてこられましたので、多くの方はお会いしたことがないかと思います。事務所や境内の掃除、台所とホールの清掃、備品の管理から草取り、庭木の水やりまでお寺の裏方として40年、ハワイ浄土宗別院のため働いてくださったプリセラさんが、今月30日をもって、引退されることになりました。理事会では、彼女の長年の献身に対し、3月13日日曜礼拝で敬意と感謝を表し、彼女の家族を招待。レイやギフトの贈呈が行われました。

ひな祭り & 書初め：（詳細は浄土宗開教ネット<https://kaikyonet.jodo.or.jp/hawaii>をご覧ください）

2022年2月27日、ハワイ浄土宗別院では、サンデースクールの活動としてひな祭り&書初めを行いました。

